



加藤 元の



と暮らして
みませんか

6

子犬の離乳期が終わり4カ月令になると、思春期に入り、乳歯は永久歯に生えかわります。犬が1歳になれば人の15歳、また2歳では人の20-25歳に相当します。その後は、1年で4歳ずつ、つまり犬は人の4倍の速度で生きていくわけです。犬ががんになった場合も4倍の速度で病気が進むこととなります。

このように、犬の7歳は人の40歳に当たりますから、いろいろな成人病（成犬病）が始まる年齢であり、心・肺・肝・腎臓、ホルモン、超音波、X線検査などの精密検査も必要になることがあります。

犬のがんになりやすい年齢は

犬の病気

人の4倍の速さで進行

7歳以上、健康を考えると、春夏秋冬、1年に4回、歯を含めて定期的にホームドクターにみてもらうことをお勧めします。

愛犬が天寿をまっとうできるかどうかは、日ごろの健康管理にかかっています。言うまでもありませんが、犬や猫は自分で病院に行くことはできません。獣医さんの診察を受けさせてあげられるのは、飼い主以外にはいないというのを肝に銘じておいてください。

さて、病気とは別に、飼い主の方から「どのくらいの頻度でシャンプーをしてあげればいいのか」という質問もよく受けます。健康な動物というものは、体も歯もみんな美しいものです。犬も猫も皮脂腺により、皮毛を美しく保つようにできています。ですから、洗ってもすぐに汚れたり、悪いにおいがする場合は、健康に問題があると考えるべきです。普通は、月に1回シャンプーをしてあげれば十分なのです。ただし、必ず犬猫専用のシャンプーを使ってください。

プードルやビションフリーゼ、ベドリントンなどは羊と同じで、毛が一生伸び続けます。月に1回はグルーミングとトリミングをしてやる必要があります。

（ダクタリ動物病院広尾病院院長、日本ヒューマン・アニマル・ボンド・ソサエティ会長）

《産経新聞2004年5月9日掲載》